

分子研研究会 「若い世代が創る次世代型分子触媒の開発とその展望」

開催日:2016年11月10日(木)~11月11日(金)

開催場所:山手3号館2階 西大会議室

世話人:國信 洋一郎 (東京大学大学院薬学研究科), 榎山 儀恵 (分子科学研究所),
大迫 隆男 (分子科学研究所), 浜坂 剛 (分子科学研究所)

講演時間:20分(質問時間を含む)

11月10日(木)

時間	演題	講演者	座長
13:30-13:40	開会挨拶	國信 洋一郎	大迫 隆男
13:40-14:00	光エネルギーを活用する二酸化炭素の固定化反応	石田 直樹	
14:00-14:20	キラルなグアニジン触媒を用いる速度論的光学分割法の展開	中田 健也	
14:20-14:40	コバルト触媒を活用する二酸化炭素固定化反応の新展開	藤原 哲晶	
14:40-15:00	分子触媒とタンパク質反応場の融合:バイオハイブリッド触媒で挑む反応開発	小野田 晃	
15:00-15:20	配位性官能基導入による高機能性不斉有機分子触媒の創製研究	中村 修一	
15:20-15:40	休憩		
15:40-16:00	高分子主鎖らせんキラリティの自在制御に基づく新材料創出	長田 裕也	浜坂 剛
16:00-16:20	配位子の精密設計を基盤とする新しい金属触媒機能の開拓	鷹谷 絢	
16:20-16:40	ホモエノラート等価体による分子変換を指向した含窒素複素環式カルベン触媒の創製	鳴海 哲夫	
16:40-17:00	固相多点担持ホスフィンによる次世代型不均一系遷移金属触媒の開発	岩井 智弘	
17:00-17:20	オニウム塩触媒の新たな可能性の探索	白川 誠司	
17:20-17:40	第1遷移金属触媒を用いる有機ハロゲン化物のスタニル化およびホウ素化反応	米山 公啓	
17:40-	写真撮影、ホテルチェックイン(岡崎セントラルホテル)		
18:30-	懇親会 (いしかわ)		

11月10日(木)

時間	演題	講演者	座長
9:30-9:50	ホスフィン-ボラン化合物を配位子として活用したアリルアルコールのアリル位置換反応	小野寺 玄	榎山 儀恵
9:50-10:10	β -ケトエステルの不斉 α -アリル化反応	吉田 雅紀	
10:10-10:30	高次選択的 Diels-Alder 反応を制御するキラル超分子触媒の開発	波多野 学	
10:30-10:50	銅触媒を用いた窒素およびリン元素導入を伴うアルケンの新規二官能基化反応の開発	平野 康次	
10:50-11:10	触媒的不斉ハロゲン化反応の開発と応用	柴富 一孝	
11:10-11:30	π -相互作用を活用する自己集積型 salen 錯体の開発	今堀 龍志	
11:30-12:30	昼食		
12:30-12:50	合成で使える! AZADO-銅協働触媒を用いる高化学選択的アルコール空気酸化反応	笹野 裕介	大迫 隆男
12:50-13:10	キラルアミノホスホニウム塩を用いる触媒的分子変換	浦口 大輔	
13:10-13:30	キラルリン酸触媒による動的速度論的光学分割を利用した軸不斉ビアリールの不斉合成	森 啓二	
13:30-13:50	ロジウム触媒を用いた縫合反応による新規キノイド型縮環オリゴシロールの合成および物性	新谷 亮	
13:50-14:10	光誘起電荷移動状態を形成する有機光触媒の開発	松原 亮介	
14:10-14:30	休憩		
14:30-14:50	アルコールの光触媒変換に基づく合成化学	中 寛史	浜坂 剛
14:50-15:10	光学活性アミンの不斉合成を指向した(Z)-ケチミンの立体選択的合成法の開発	加納 太一	
15:10-15:30	劇的な反応加速効果と高エナンチオ選択性を実現する不斉求核触媒の開発	萬代 大樹	
15:30-15:50	非共有結合性相互作用による C-H 結合変換反応の位置選択性の制御	國信 洋一郎	
15:50-16:00	閉会挨拶	榎山 儀恵	